

新年ご挨拶 相談役会長 戸沼 平八

「誠実と努力」を合言葉に「安全で良い仕事」をしよう！



皆様には健やかに新しい年を迎えられたことと存じます。

昨年、平成29年の漢字は「北」という字が選ばれました。「北」が選ばれた理由に諸説あるようですが、私は北海道の「北」が選ばれたと思っています。

一昨年、新幹線が開通しました。北海道は日本の“北の果て”ではなく、その存在感を増しています。今年

は、明治2年に蝦夷地から北海道に改名されて150年の記念の年です。いろいろなイベントが行われることでしょう。

70年前、私が中学生の時、当時の笹原校長が「文化は北上する」とおっしゃっていました。交通手段は飛躍的に発展し、航空機や新幹線が移動手段になりました。国道5号線は改良され、高速道路も整備され、車で札幌まで4時間弱で行けるようになりました。また、情報伝達媒体や通信機器の普及もあり、「あっ」という間に文化は北上するようになりました。

当社は昭和9年の会社創立以来、函館を拠点に北に向かって発展してきた歴史があります。建築では、昭和25年に函館営林局が設置され、八雲や黒松内、倶知安のそれぞれの営林署の建設にあたり北に向いました。

土木工事では、有珠山が噴火して以来、洞爺湖に陣取り、災害復旧に尽力しました。また、倶知安町での羊蹄山直轄治山工事に30年近く参加しました。最近では、ノンフレーム工法の特長技術をもって、網走、稚内を含め全道で仕事してきたことは、皆さんもご承知の事と思います。

北ばかりではなく、人との出会いをキッカケに東日本大震災の復興のために宮城県名取市に営業所を設置して6年になります。将来はもっと南に、海外に行くことになるかも知れません。皆さん、これからは先ず英会話を勉強してください。

今年も皆さんには技術力、人間力を発揮して、担当する仕事に集中していただきたいと思ひます。社は「誠実と努力」を合言葉に「安全で良い仕事」をすることを願ひし、新年のご挨拶といたします。（1月5日朝礼 会長挨拶から）





安全と衛生

戸沼岩崎建設株式会社 発行
平成30年2月15日
平成30年2月15日
<http://www.tonuma.com/>
第226号



平成29年度後期 ISO内部監査

平成29年度後期の内部監査が各々の現場で進んでいます。当社ではISOマニュアルで年2回の内部監査を規定しています。内部監査は当社の統合マネジメントシステムが、現場や部門で適切に運用され、実効ある成果が得られているかを検証し、会社全体の改善につなげ、会社を良くするために行われます。現場では職員同士が監査しています。職員同士が互いの施工活動をj確認することでISO規格への理解を深め、自らの意識や活動に不足する点を見出すのに役立っています。



出来洞地区防伐林造成工事
ほか1工事(鹿部町)



市道寺町二十間坂線舗装道
新設工事(函館市)



登別温泉地区治山工事(登別町)



室蘭母恋北町3-1
急傾斜地工事外(室蘭市)



白竹地区予防治山工事(福島町)



浦和地区予防治山工事(福島町)



鷹の川総合流域防災工事
護岸工事外(函館市)



ネットトヨタ函館(株)
美原店改修工事(函館市)

ネットトヨタ函館(株)美原店改修工事 安全教育



2月2日(金)、ネットトヨタ函館(株)美原店改修工事の2月度安全教育が行われ、木村常務と伊藤総務課長が講師を務めました。当日作業をされていた13名の皆さんが参加しました。作業の中に潜む様々な危険を予測し、自他の安全に配慮して安全な行動をとると共に、自ら危険な環境を改善することができるようにするために安全教育は重要です。

木村常務は「ヒューマンエラー防止」をテーマにヒューマンエラーを12に分類し、分かりやすく講話しました。伊藤課長は、昨年1年間の函館労働基準監督署管内における労働災害発生状況と北海道の建設業における死亡災害事例の報告、そして、交通安全や飲酒運転の根絶について話しました。

「人は誰でも間違いを起こします。安全設備や安全管理活動の充実はもちろんのこと、個人のヒューマンエラーを補い合える現場の雰囲気づくりが大切です。職種や会社の違いに隔たりを持つことなく、この現場で働く全員が無事故で工事を完成させるという強い気持ちで安全に取り組んで欲しいと思います」と木村常務が結びました。

「人は誰でも間違いを起こします。安全設備や安全管理活動の充実はもちろんのこと、個人のヒューマンエラーを補い合える現場の雰囲気づくりが大切です。職種や会社の違いに隔たりを持つことなく、この現場で働く全員が無事故で工事を完成させるという強い気持ちで安全に取り組んで欲しいと思います」と木村常務が結びました。

平成29年度森林土木写真コンクール 優秀賞受賞

当社土木部の工藤三寿さんが平成28年度に現場代理人を務めた「吉田地先復旧治山工事ほか1工事」の完成写真が、全国森林土木建設業協会(以下、全森建)の「平成29年度森林土木写真コンクール」で優秀賞を受賞しました。審査は全森建の技術・労働委員会で行われ、応募総数74点から投票・審査により、最優秀賞1点、優秀賞4点が選考されました。

※撮影者 工藤 三寿 さん

